

里山観察ウォーク 六呂師高原ぐるっと1万歩

- 1 日時：平成28年6月25日（土）
9：30～14：00
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：26人（大人25、子ども1）
- 4 講師：山岸、田淵、北川、矢村、多田さん（自然観察指導員の会）

5 イベントのようす：



涼やかな初夏の六呂師高原を歩きました

梅雨時とあって雨が心配されましたが、当日は曇り。風もあり涼やかな初夏の高原でハイキングを楽しみました。

午前中のコースでは、ムラサキシキブやオカトラノオ、マタタビなどの植物や六呂師高原の地形の成り立ちを観察しました。観察の途中で小さな子ギツネをくわえた親ギツネに出会い、皆、思わず声を上げて立ちどまりました。親ギツネも驚いたようすで暫く躊躇していましたが、やがて藪の中を足早に過ぎていきました。

また、高原のあちこちでアキアカネが羽を休める姿が見られました。



アキアカネが羽を休めていました

午前中は池が原湿原まで約5000歩を歩き、湿原のあずまやで昼食をとりました。昼食の後は、顕微鏡で食虫植物のイヌタヌキモを観察したり、池の周囲の低木にどっさり産みつけられたモリアオガエルの卵塊やアキアカネのオスとメスの見分け方の説明を聞きました。

午後は池が原湿原の木道を歩きながら、見頃を迎えたミズチドリやメタカラコウ、食虫植物のモウセンゴケなどを観察した後、奥越高原牧場の牛たちを眺めながら歩いていると、ポツリポツリと雨が…。いよいよ雨雲がやって来たかと、足早に妻平湿原を抜けて自然保護センターに戻りました。

午後のコースでも約5000歩を歩きましたが、アップダウンが少なく、舗装された道を歩くコースで、全員が自然観察を楽しむことができました。



アキアカネのオスとメスの見分け方を聞きました